## 自然と文化科 活動記録

## 一泊旅行二日目

日時 2025年6月13日 金曜日 晴れ

担当者

場所 |福井県立恐竜博物館・大本山永平寺

文:写真 藤本純子

備考 | 参加者数 47名 (1班 13名、2班 13名、3班 9名、4班 12名)





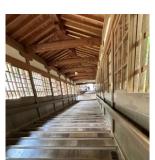
















早い梅雨入りの今年、梅雨の合間の2日間の晴れ間。幸先が 良い。前泊のホテルを9時に出発し中部縦貫道を通って大野IC で降り、福井県立恐竜博物館に向かう。

福井県に入ると様々な所で恐竜が出迎えてくれる。駅のベンチでも田んぼでも2階の壁面でも。恐竜の足跡について行くと博物館に誘導されるとか。ダンダンと気持ちが盛り上がって来る。大きな銀色のドーム前の広場に立つと様々な恐竜、恐竜、恐竜。どこで写真を撮ろうかと悩むが、施設名前で集合写真を撮って10時前より約1時間自由見学になる。

入った所が3階で長いエレベーターで1階に降りる。

展示場に着く迄の通路にも珍しい展示が有り、館内余すところ無く楽しませてくれる。

メインホールでは恐竜が吠えながら動いている。

その周りにも様々な展示が一杯! 残念ながらここだけでは無いので足早に次に進む。

スロープで館内を見下ろしながら上がって行くと全体が見られて楽しい。

上の階ではシニア自然大学に入って良く耳にする様になった 白亜紀・ジュラ紀・三畳紀の動物と植物が共に展示されていて とても分かり易い展示で良かった。

来場者を楽しませ様としている館を後に次の予定地に進む。

大本山永平寺に 11 時 40 分より 1 時間の予定で参拝。敷地に入るだけで厳粛な気分になる。谷坂クイズにも出てきた傘松閣の天井絵を見に行く。何を見ているのかと予備知識の無い(?)観光客が尋ねに来る。

その後順路に沿って観賞する。長い廊下がどこも鏡の様。ふと気が付くとどこを切り取っても絵になる景色。 さすが永平寺と感心する。時間になり振り返りながら 帰路につくが、しっとりと落ち着く訪問地でした。

西梅田に予定の18時過ぎに帰着する。 のである。

所感 無関心な人も虜にする処と荘厳な処。帰路の車中からの沢山のアブラギリの花。みんなの記憶に留まった事でしょう。良い旅でした。

